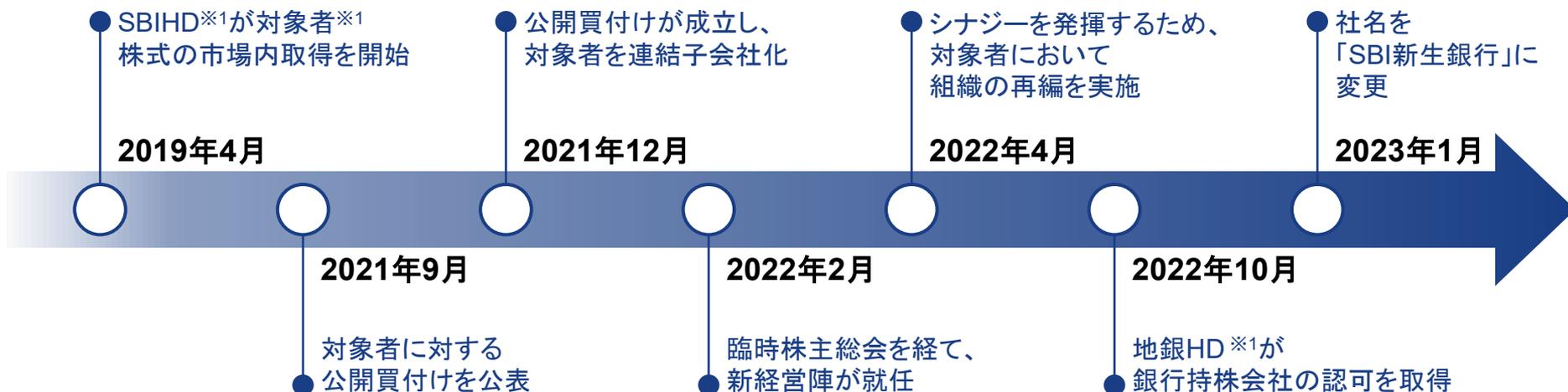


株式会社SBI新生銀行に対する 公開買付け開始に関する ご説明資料

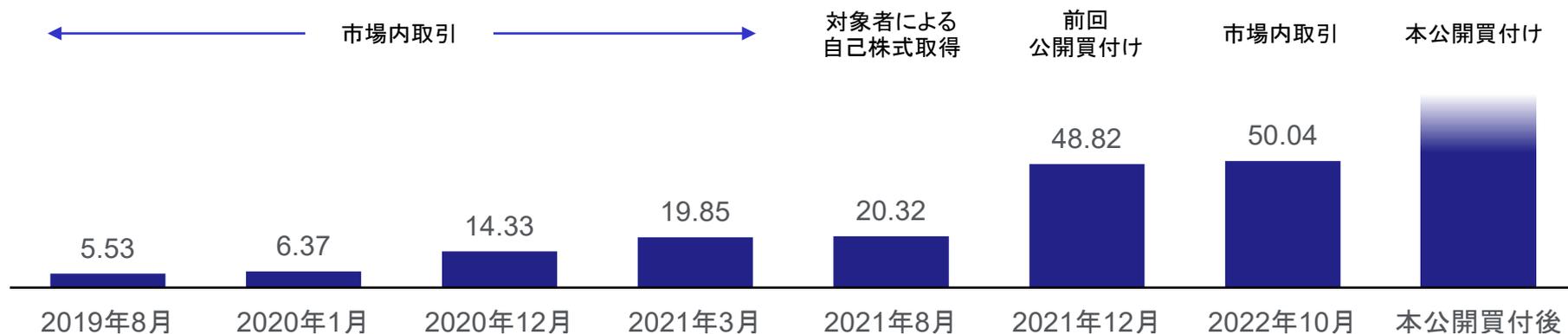
【本公開買付けの背景と概要】

2023年5月12日

本公開買付けに至る経緯



SBIHDグループによる対象者に対する所有割合※2推移(%)



※1 SBIホールディングス株式会社を「SBIHD」、SBI地銀ホールディングス株式会社を「地銀HD」又は「公開買付者」、株式会社SBI新生銀行を「対象者」とする

※2 所有割合は本公開買付け公表時の発行済株式数から対象者の自己株式数を控除した株式数に対する割合を記載

本公開買付けの概要

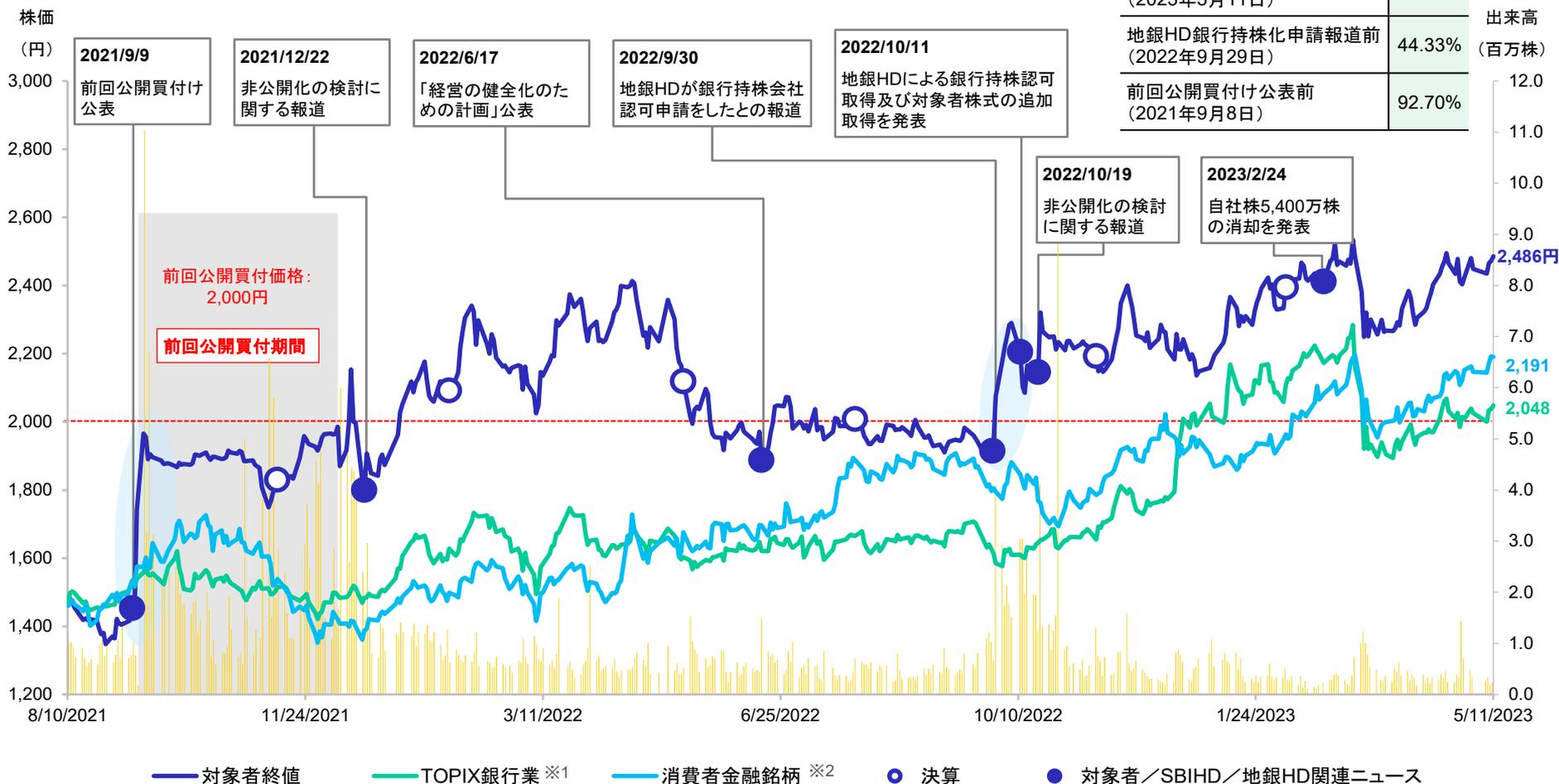
公開買付者	SBI地銀ホールディングス株式会社(SBIホールディングスの100%子会社)
対象者	株式会社SBI新生銀行 (証券コード: 8303 東証スタンダード市場)
公開買付期間	2023年5月15日(月)~2023年6月23日(金) (30営業日)
決済の開始日	2023年6月30日(金)
買付価格	1株当たり2,800円
プレミアム	5月11日終値: 12.63% 1ヶ月平均: 14.66% 3ヶ月平均: 16.81% 6ヶ月平均: 19.97% (公表前営業日である5月11日基準)
買付予定数	最大55,072,084株※(公開買付け後の公開買付者の所有割合:最大77.02%) ※2023年3月31日現在の対象者の発行済株式総数から地銀HD、対象者、預金保険機構及び整理回収機構が所有する株式数を控除した株式数
買付予定数の上限及び下限	いずれもなし
買付代金	154,201,835,200円
対象者の賛同意見の有無	あり
応募推奨の有無	あり
公開買付代理人	株式会社SBI証券
アドバイザー	シティグループ証券株式会社(フィナンシャルアドバイザー) 西村あさひ法律事務所(リーガルアドバイザー)

対象者の株価推移とプレミアムの水準

● 前回公開買付けの公表以来、対象者の株価は高い水準で推移

本公開買付け価格のプレミアム水準

足元 (2023年5月11日)	12.63%
地銀HD銀行持株化申請報道前 (2022年9月29日)	44.33%
前回公開買付け公表前 (2021年9月8日)	92.70%



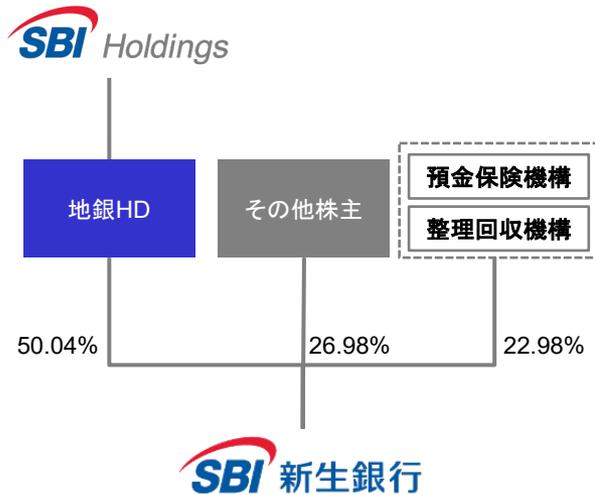
※1 2021年8月10日対象者の株価終値1,460円で指数化

※2 消費者金融銘柄5社(アコム、クレディセゾン、オリコ、アイフル、ジャックス)の株価を時価総額で加重平均することで算出した指数を、2021年8月10日対象者の株価終値1,460円で指数化

想定取引スキーム

公開買付けを通じた対象者株式の取得及びその後のスクイーズアウトを通じ対象者の非公開化を目指す(一連の取引を「本取引」とする)。本取引完了後は地銀HDと政府系株主^{※1}のみが株主として残る想定

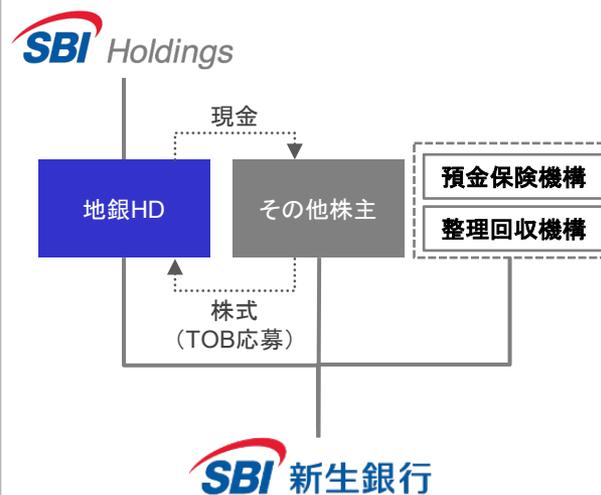
1. 現状



- 2022年10月の市場での追加取得の結果、地銀HDは対象者株式の50.04%を保有
- 政府系株主は合わせて対象者株式の22.98%を保有

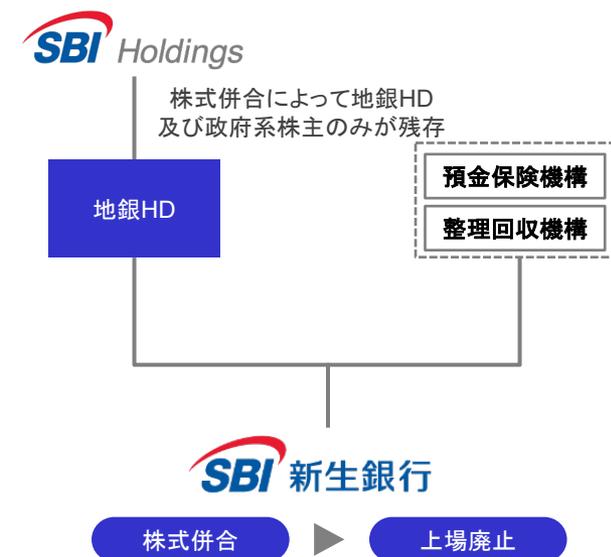
※1 預金保険機構及び整理回収機構

2. 公開買付けの実施



- SBIHDからの貸付/出資を元手として地銀HDが現金対価によるTOBを実施
- 政府系株主はTOBに応募しない旨合意

3. スクイーズアウト後



- 地銀HD及び政府系株主持分以外の持分が端株となるよう株式併合を実施
- 株式併合の結果、対象者の株主は地銀HD及び政府系株主のみとなり、対象者は上場廃止となる予定

対象者の上場維持による課題認識

対象者の上場を維持したままでは、中長期的な成長の観点から必要な施策を迅速かつ柔軟に実施することは難しいと判断

上場維持による課題点

- 1** 対象者の企業価値向上に資するものの、短期的には対象者の少数株主にとってその意義が容易に汲み取りにくい先行投資や一時的なコスト増となる取り組みの実施が困難
 - ▶▶ **非公開化後は対象者にとって中長期的な成長に繋がる施策の実施が可能に**
- 2** SBIHDグループの会社との連携による施策で対象者グループの利益が増加する場合、増加した利益の一部を対象者の少数株主が享受するため、当該施策が長期的にはSBIHDグループ全体の成長に繋がるものであっても、SBIHDの株主に対する説明が難しい場合あり
 - ▶▶ **非公開化後はこうした状況がなくなるため、より積極的な施策も柔軟に実施可能**
- 3** SBIHDグループとの取引を実施する場合には少数株主の利益を配慮した意思決定プロセスが必要であり、迅速な判断が難しい場合あり
 - ▶▶ **非公開化により、グループ横断的な取り組みに関する意思決定が迅速化・柔軟化**

対象者及び政府系株主との合意事項

1 本公開買付けに関して

- 対象者は2023年5月12日付で公表したプレスの通り、本公開買付けについて**賛同の意見**を表明するとともに、一般株主の皆様に対して、**応募することを推奨**
- 対象者は上記のプレスにおいて、対象者を非公開化することで、これまでよりも、機動的かつ柔軟な意思決定やSBIHDグループとの更なる一体化、及びより中長期的な経営戦略の構築・遂行が可能となり、**①機能や顧客基盤の相互補完によるビジネスの更なる強化②両グループ全体で最適な経営資源の配分を迅速に行うこと及び③上場維持コストの削減**といったシナジーやメリットが実現可能となると表明
- 政府系株主は**、対象者の取締役会が本公開買付けについて賛同及び株主に対する応募の推奨の意見を決議及び公表しており、これが撤回又は変更されていないことを条件として、**本公開買付けに応募せず、また、本スクイズアウトに関する議案に対して賛成の議決権を行使する旨合意**

2 公的資金の返済に向けた道筋について

- 「公的資金の取扱いに関する契約書」をSBIHD、対象者、預金保険機構及び整理回収機構の4者で締結
- 上記契約書で以下について合意
 - 公的資金の残額(「要回収額」)は**349,374,894,942円**
 - 公的資金の返済に向けた具体的仕組みについては**2025年6月末までに合意**

<https://www.sbigroup.co.jp>